

日本政策金融公庫農林水産事業からのお知らせ -その53-

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC 平成 24 年農業経営動向 分析結果

公庫資金ご利用先の平成 24 年決算内容の分析結果を取りまとめましたので、ご紹介いたします。ご自身の経営実績との比較・検討などにご活用ください。

1 酪農業界動向

H24 年度の生乳生産量は、生産者団体による 3 年間減産を行わない計画生産への取り組みが進み、北海道、都府県ともに約 1% 増加した。

H24 年度の総合乳価は、ほぼ前年並みで推移した。

H24 年度の初妊牛価格は、ほぼ前年並みで推移した。

H24 年の初生牛価格は、牛肉需要の回復から、乳用種、交雑種とも前年をやや上回って推移した。

2 酪農部門決算分析

<単位:百万円>

		個人						法人					
		北海道			都府県			北海道			都府県		
		H23	H24	(前年比)	H23	H24	(前年比)	H23	H24	(前年比)	H23	H24	(前年比)
経営規模等	成牛頭数(頭)	94.4	90.2	-4.4%	61.8	62.4	1.0%	323.3	333.4	3.1%	147.5	150.1	1.8%
	単収(kg/頭、経産牛)	8,801	9,408	6.9%	8,798	9,074	3.1%	9,086	10,290	13.3%	9,091	9,133	0.5%
	単価(円/kg)	80.5	83.2	3.4%	104.0	104.6	0.6%	79.6	81.0	1.8%	105.6	105.3	-0.3%
収支実績	売上高	69.3	72.6	4.8%	62.0	64.4	3.9%	245.0	257.1	4.9%	147.4	152.1	3.2%
	利益	15.0	16.5	10.0%	6.4	6.0	-7.2%	5.2	9.5	84.7%	6.2	4.2	-31.9%
	償却前利益	15.7	17.1	9.2%	15.7	15.4	-1.9%	44.7	48.4	8.3%	26.7	25.1	-5.7%

(注) 1. H23年の単収・単価は「平成23年農業経営動向分析結果」より引用した
 2. 利益=[個人]農家所得(専従者給与控除前)、[法人]経常利益
 3. 償却前利益=[個人]農家所得(専従者給与控除前)+減価償却費、[法人]経常利益+減価償却費

H24 年の成牛頭数は、北海道の個人経営でやや減少した以外は、前年並みからやや増加した。

H24 年の単収は、個人、法人とも増加し、特に北海道の増加幅が大きかった。単価は、北海道ではわずかに上昇した一方、都府県ではほぼ前年並みとなった。

H24 年の収支実績は、個人、法人とも北海道では増収増益となった一方、都府県では増収減益となった。

※ 売上高材料費率(飼料費を含む)の推移

個人・北海道: H23 年 50.3% → H24 年 49.9% 都府県: H23 年 56.1% → H24 年 57.3%
 法人・北海道: H23 年 44.1% → H24 年 45.1% 都府県: H23 年 48.9% → H24 年 50.1%

※ 詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。
 ⇒ http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町 1-2-22 広島トランヴェールビルディング 6 階
 TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(1月8日と22日)

場所:三次農業協同組合本店

庄原相談窓口(1月9日と23日)

場所:庄原農業協同組合本店

福山相談窓口(1月10日)

場所:日本政策金融公庫福山支店

※ 予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。



「近交回避」のため新情報の提供を開始

乳用牛群検定事業ではこれまで「近交」について、いろいろな情報を提供してきました。しかし、1頭1頭の雌牛について、近交を避けて種雄牛を選定していくことはとても大変な作業になります。そこで、当団では牛群でまとめて産次毎に近交回避を検討できる「牛群近交回避頭数」を新たに開発し、牛群検定事業で提供の「繁殖台帳Webシステム」で利用出来るようにしました。

1 牛群近交回避頭数とは？

牛群近交回避頭数(図1)とは、ある1頭の種雄牛を牛群全頭に交配した場合に何頭が近交係数6.25未満となるかをパーセントで表示したものです。牛群検定事業では、この牛群近交回避頭数を未経産、初産、2産以上の産次別に計算することで世代的な検討を加えることが出来るようになっています。対象雌牛は、血統登録済みの牛群検定実施牛に限ります。

また、対象種雄牛は、総合指数(NTP)TOP40の国内種雄牛に限りますが、後代検定候補種雄牛も調整交配情報として同様に牛群近交回避頭数を表示可能です。

2 「繁殖台帳Webシステム」の利用

この様に計算した牛群近交回避頭数を、「繁殖台帳Webシステム」上で交配種雄牛情報として一覧表示します。

図2はある農家に繋養されている68号牛における交配種雄牛情報です。

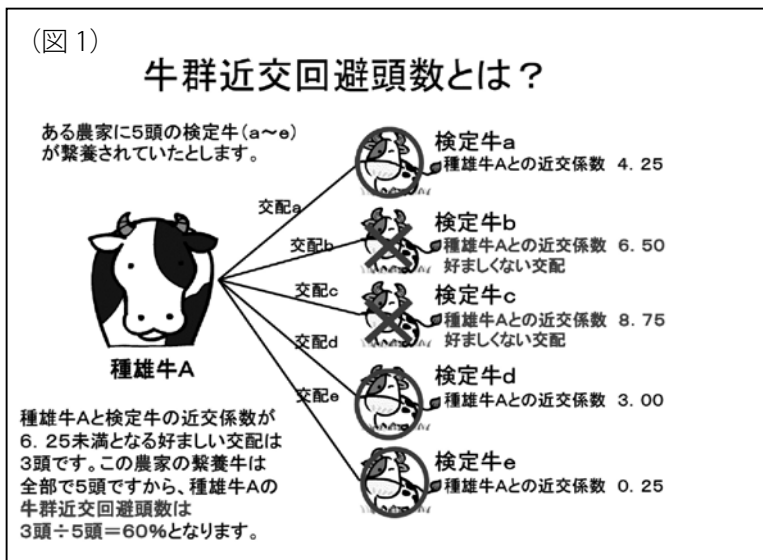
交配種雄牛情報は、種雄牛の遺伝評価値の各項目で並べ換えが可能です。

この例では上段が総合指数順、下段が耐久性成分で並べ換えたもので、どちらの場合も種雄牛Cが68号牛に対する近交を避けた適切な交配と判断できます。

しかし、牛群全体で見たときは、上段での種雄牛Bは牛群近交回避頭数の各産次に○印がついており、この農家の飼養頭数の60%に種雄牛Bを利用できることが判ります。

すなわち、種雄牛Bは68号牛には交配出来ませんが、農家にとっては利用しやすい種雄牛であることが判ります。下段の場合も同様に種雄牛Jや種雄牛Gが利用しやすい種雄牛と言えます。

(図1)



(図2)

交配種雄牛情報

2013-8月 牛群検定農家コード 20-01-001
牛コード 0068 個体識別番号 99999 9999 9

牛コード0068号に国内種雄牛Top40を交配した場合の近交係数

順位	種雄牛	牛群近交回避頭数(60%)			近交係数	NTP並び順	種雄牛情報(EBV)				Milk (kg)	
		未経産	初産	2産以上			産乳成分	耐久性成分	疾病影響成分	長命産乳効果(円)		乳代効果(円)
1	種雄牛 A	-	-	○	6.97	+3,808	+3,253	+922	+38	+95,344	+174,787	+2,000
2	種雄牛 B	○	○	○	6.59	+3,763	+3,344	+902	-63	+99,706	+184,326	+2,599
3	種雄牛 C	-	-	○	5.97	+3,751	+3,048	+892	+18	+103,290	+163,775	+2,965
4	種雄牛 D	-	-	○	6.15	+3,654	+3,508	+146	+15	+109,844	+187,731	+2,071
5	種雄牛 E	-	-	○	6.25	+3,427	+2,821	+823	-17	+85,940	+163,428	+1,988
6	種雄牛 F	-	-	-	6.65	+3,354	+2,840	+505	+9	+67,316	+165,585	+2,270
7	種雄牛 G	○	○	○	5.25	+3,322	+2,619	+892	+11	+109,431	+164,490	+956
8	種雄牛 H	-	-	○	5.44	+3,307	+2,733	+594	-20	+82,896	+178,884	+2,152
9	種雄牛 I	-	-	○	10.85	+3,287	+2,662	+447	-52	+64,056	+146,127	+1,628
10	種雄牛 J	-	-	○	7.16	+3,205	+2,392	+736				

総合指数(NTP)の優秀な種雄牛を牛コード0068号に交配したい場合は種雄牛Cが近交も低く適切です。

どちらも種雄牛Cが適切に見えますが・・・？

ワンタッチで耐久性成分に並べ替え

順位	種雄牛	牛群近交回避頭数(60%)			近交係数	NTP並び順	種雄牛情報(EBV)				Milk (kg)	
		未経産	初産	2産以上			産乳成分	耐久性成分	疾病影響成分	長命産乳効果(円)		乳代効果(円)
20	種雄牛 T	-	-	○	7.46	+2,888	+1,919	+902	+37	+96,466	+134,387	+1,384
37	種雄牛 k	○	○	○	7.46	+2,636	+1,777	+922	-63	+74,418	+132,859	+1,309
40	種雄牛 n	○	○	○	6.72	+2,573	+1,814	+781	-22	+49,530	+94,277	+1,159
10	種雄牛 J	○	○	○	7.16	+3,205	+2,392	+736	+77	+79,306	+130,382	+1,584
3	種雄牛 C	-	-	○	5.97	+3,751	+3,048	+892	+18	+103,290	+163,775	+2,965
7	種雄牛 G	○	○	○	5.25	+3,322	+2,619	+892	+11	+109,431	+164,490	+956
15	種雄牛 o	-	-	○	5.12	+2,896	+2,282	+885	+105	+132,157	+151,870	+2,037
27	種雄牛 a	-	-	○	5.78	+2,789	+2,109	+837	-7	+57,166	+115,409	+1,480

乳器や肢蹄を改良する耐久性成分の優秀な種雄牛を牛コード0068号に交配したい場合も種雄牛Cが近交も低く適切です。

3 牛群近交回避頭数の応用

牛群近交回避頭数は、「繁殖台帳Webシステム」上で20～80%で設定出来ます。当然、小さい値を設定すれば多くの○印が表示され、大きな数字を設定すれば○印は少なくなります。

もし、80%と設定しても○印が表示されれば、牛群内のほとんどの雌牛に利用できる大変利用しやすい種雄牛と言えます。

このように牛群近交回避頭数は、牛群全体での近交回避を検討できる新たな技術指数です。

繁殖台帳WebシステムはパソコンやiPad、スマートフォンでも操作でき、検定農家であれば誰でも利用出来ます。IDとパスワードが不明な場合は広島県酪農業協同組合にお問い合わせください。詳細は、当団ホームページに解説ビデオを公開しておりますのでご参照ください。

「繁殖台帳Webシステム」で「検索」 プロモーションビデオ(動画)応用編5

本記事の問い合わせは、岡山種雄牛センター神澤(0868)57-2475 まで、お願いします。